

第14回 和歌山県高校生英語ディベート大会開催要項

1 目的 日頃の英語の学習成果を発表する機会として、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成するとともに、ディベート活動を通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。

2 主催 和歌山県教育委員会

3 日時 令和7年10月19日（日）（予備日は10月26日（日）とする）
9:30～17:30（受付 9:10～）

4 会場 和歌山県民文化会館
(予備日：中央コミュニティセンター)
和歌山市小松原通一丁目1番地（電話 073-436-1331）
(予備日：和歌山市三沢町1丁目2番地 電話 073-402-2678)

5 参加資格

- ・県内の高等学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校の3年生までに在学する生徒。
- ・英語のネイティブスピーカーは不可。
- ・次の（1）～（3）のいずれかの条件に該当する者は、1チームにつき2名までとする。ただし、該当生徒で各試合に出場できるのは1名までとする。（試合ごとの変更は可能。）
 - （1）英語を第1言語とする国に12か月以上滞在経験のある生徒
(就学前の滞在は不問)
 - （2）英語を第2言語とする国の出身である生徒
(就学前の滞在は不問)
 - （3）家族で常用的に英語を使っている生徒

6 チーム構成 同一校でチームを編成し、1チームは4名～6名。
(1校から複数チームの出場も可能であるが、1校からの出場チーム数を制限することがある。)

7 競技規則 和歌山県高校生英語ディベート大会基本ルール（別紙）による。また、全国高校英語ディベート連盟（HEnDA）による全国高校生英語ディベート大会ルール（<http://henda.global/>）を参考とする。
(予選運営方法等で異なる部分もあるので注意すること。)

8 競技方法 トーナメント形式とする。組み合わせについては、参加申し込み終了後、抽選を行う。
なお、昨年度の1位校、2位校をシード校とするが、シード校から複数チームのエントリーがあった場合は、その学校において優先順位の高いチームをシードの対象とする。
また、参加チーム数の状況により、競技方法を変更することもある。

9 論題 すべての試合において、次の論題とする。

Resolved: That the Japanese government should ban children under 16 years old from using social media.

日本政府は 16 歳未満の子どもがソーシャルメディアを利用するこ
とを禁止すべきである。是か非か。

10 表彰 1位～4位までに楯と賞状を授与する。また、ベストディベーターに賞状
を授与する。

11 全国大会への出場

- ・上位校（本大会の出場校数により、全国大会への出場校数が決定する。）
には、令和 7 年 1 月に埼玉県で開催される第 20 回全国高校生英語
ディベート大会への出場権が与えられる。
- ・全国大会の出場は 1 校あたり 1 チームまでとし、同大会への出場選手は
再構成し、登録することができる。
- ・全国大会出場に係る登録等の費用は、各学校の負担とする。

12 参加申込等 各学校において参加チーム毎に参加申込書（別記様式）を作成の上、取り
まとめて令和 7 年 6 月 20 日（金）までに、下記担当宛て提出すること。

13 ジャッジについて

出場校は、ジャッジを 1 名登録すること。ジャッジ資格については問わな
いものとするが、全国高校英語ディベート連盟（HEnDA）のルールに基
づき、試合の勝敗を判定する能力が求められる。

なお、引率教員以外の者がジャッジのために参加した場合、その費用は出
場校の負担とする。

14 その他 県立学校の教員が引率またはジャッジとして参加した場合、週休日の振り
替えとなる。

【担当】 和歌山県教育庁学校教育局県立学校教育課
高校教育班 指導主事 戸田 匡則
〒 640-8585 和歌山市小松原通 1 丁目 1 番地
TEL 073-441-3686 FAX 073-441-3652